

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	650	配信日	2025/1/12	ジャンル	業界情報
テーマ	銀はこれからどうなる？将来性と価値の変化				

前は、金の高騰に隠れながらも銀価格が上昇している背景について、産業需要の拡大や投資需要、供給不足といった視点から整理しました。では、この流れは今後も続くのでしょうか。第2回となる今回は、こうした現状を踏まえ、銀がこれからどのような役割を担い、どのような価値を持つ存在になっていくのかを中長期的な視点で見していきます。

中期的に見た銀価格の見通し

今後数年のスパンで見ると、銀価格は高値圏を維持しながら推移する可能性が高いと考えられています。太陽光発電や電気自動車といった分野は引き続き成長が見込まれており、銀の産業需要を下支えします。加えて、インフレ環境や国際情勢の不透明感が続く限り、安全資産としての投資需要も一定程度続くと考えられています。

長期的な視点での成長要因とリスク

長期的には、脱炭素社会の実現やAI技術の進展によって、銀の重要性はさらに高まる可能性があります。一方で、価格上昇に伴って銀のリサイクルが進んだり、技術革新によって使用量が削減されたりする場合、価格が調整される局面も考えられます。そのため、上昇要因と下落リスクの両方を理解しておくことが重要です。



銀の位置づけの変化

かつて銀は「金の代用品」として見られることが多く、「貧者の金」と呼ばれてきました。しかし現在では、AIや脱炭素といった次世代産業を支える重要な素材として再評価されています。高い導電性を持つことから、データセンターや高度な電子機器にも欠かせない存在となっており、米国では経済安全保障の観点から重要鉱物資源のひとつとして位置づけられています。

銀の相場

25年1月時点：約150円

26年1月時点：約403円

全体のまとめ

銀は産業用途と投資需要の両面で必要とされる金属であり、需要が増える一方で供給は増えにくい構造にあります。そのため、現在の価格上昇は一時的なものではなく、世界経済や技術の流れと深く結びついた動きだと言えるでしょう。今後も銀は、社会や産業を支える重要な存在であり続けると考えられます。

今日売る動機付けに使え、引き出しにも使えるトーク

「銀のような工業によく使われている貴金属はかなり振幅が大きいですが、そのなかでも今は電気自動車の普及や5G通信機器にまで使用されているおかげで売り時になっています。そのため今高いうちにご売却したほうがいいですよ」

「EUが『2035年までにガソリン車などの販売を禁止する』という方針を見直す可能性を示唆しました。これによりガソリン車が『もっと長く使われるかもしれない』という考えになり、電気自動車で使われている銀の価格にも影響が出るかもしれません」